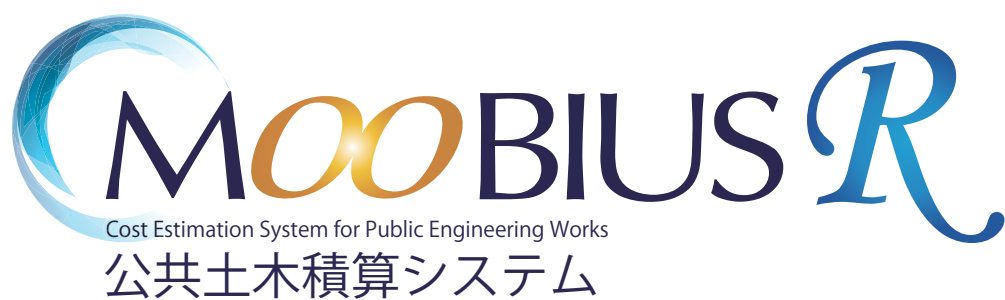


土木積算システム 簡易マニュアル



目次

1	積算システムの起動.....	2
2	新規工事作成	2
	・ PDF/XLS 設計書取り込み手順	2
3	積算データ入力	8
	・ 行を挿入したい場合	13
	・ 目的の歩掛を検索する方法.....	15
	・ 手入力歩掛の入力方法.....	16
	・ 手入力単価の入力方法.....	18
	・ 目的の単価を検索する方法.....	19
4	経費計算.....	21
5	積算書印刷.....	26
6	工事選択画面説明	27
	・ 工事選択に表示されるアイコン説明.....	27
	・ 「武蔵」や「デキスパート」等のシステムとのデータ連携方法	28
	・ 工事を検索（絞り込む）方法.....	28

1 積算システムの起動

① デスクトップ画面より【積算システムメビウス R】を起動して下さい。



【ユーザー情報登録】
複数ユーザーでご利用の場合は、ユーザー情報を登録してご利用して下さい。

【お知らせ機能】
吉備システムからのバージョンアップや単価更新等をお知らせ致します。

【終了】
積算システムメビウス Rを終了します。

2 新規工事作成

◆ PDF/XLS 設計書取り込み手順

ここでは PDF 設計書を取り込んだ際の工事作成手順を説明します。

注1 設計書の取り込みを行う場合は、必ずインターネットが繋がっている状態で行って下さい。

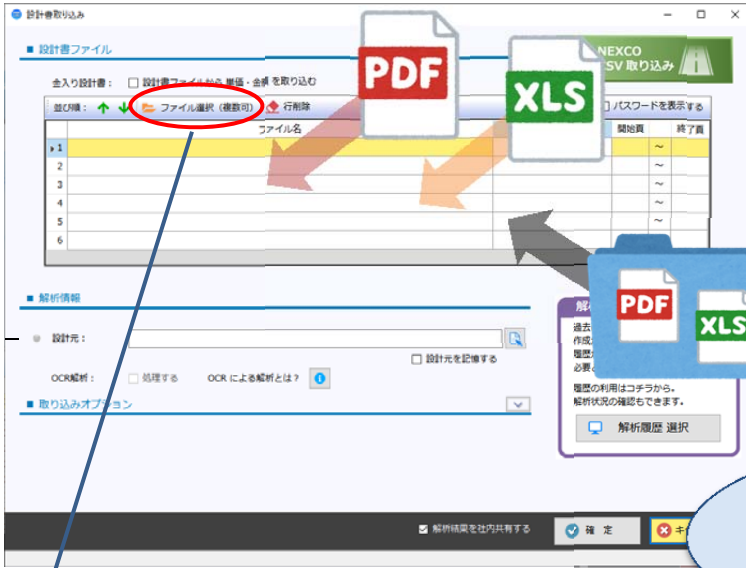
インターネットが繋がっていない場合は設計書の取り込みは出来ません。

注2 設計書取り込みから工事を作成し、データ入力する場合は「Adobe PDF Reader」が必要となります。



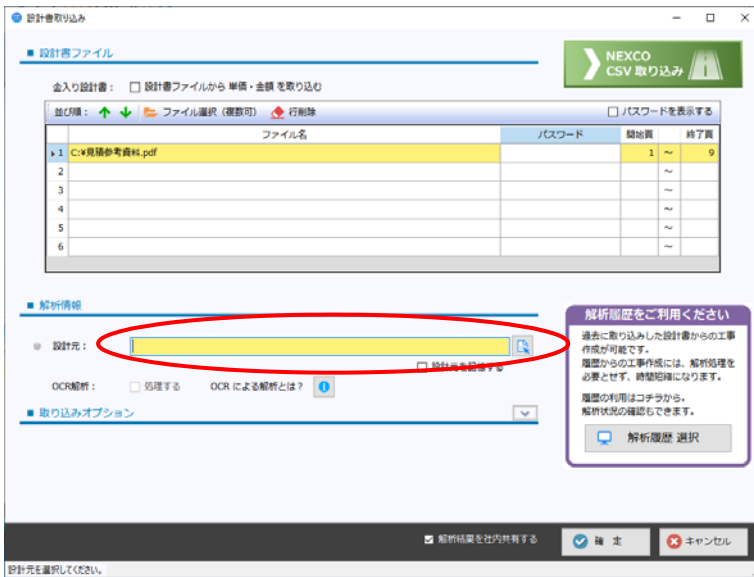
① 取り込みを行う設計書を【PDF/XLS 取り込み】アイコンへドラッグ&ドロップして下さい。
(⇒手順④へ)
又は【PDF/XLS 取り込み】アイコンをクリックして下さい。(⇒手順②へ)



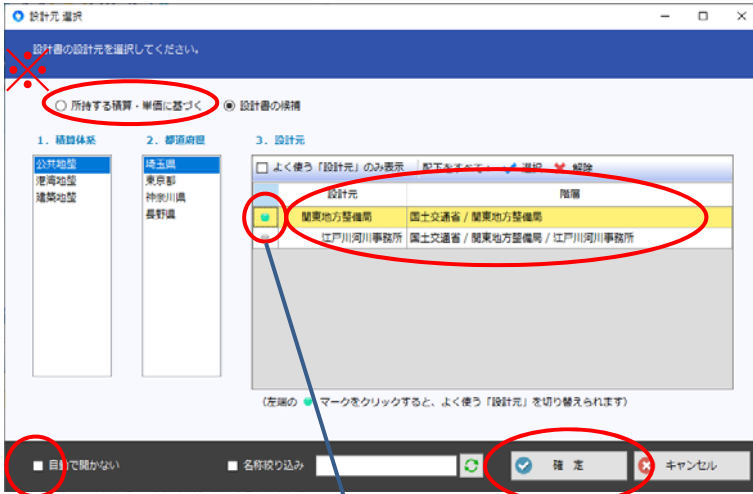


- <アイコンをクリックした場合>
- ② 「設計書取り込み」画面が表示されます
取り込みを行う設計書をマウスのドラッグ&ドロップで登録して下さい。(PDFやEXCELのファイル形式に関係なく同時に処理する事も可能です。)

複数のファイルを同時に、また設計書の入ったフォルダごと纏めて登録することも可能です。



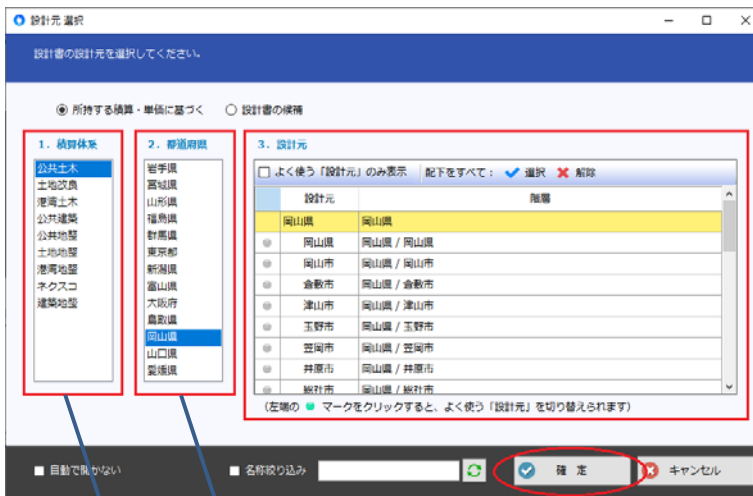
- ③ 次に**設計元**を選択します。
枠又はアイコンをクリックして下さい。



- ④ 設計元の候補が表示されます。
 該当する設計元を選択し、**確定**をクリックして下さい。(⇒手順⑦へ)
- ※ 表示されている候補以外から選択する場合は「所持する積算・単価に基づく」に切り替えて下さい。(⇒手順⑤へ)

●をクリックするとよく使う設計元として登録ができます。

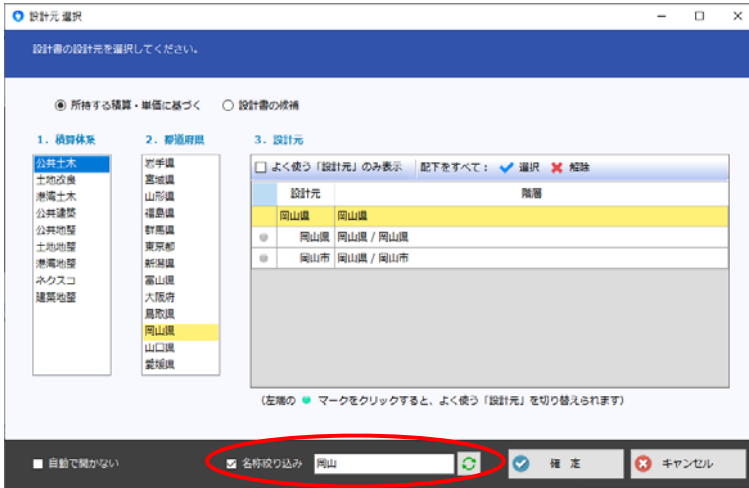
ドラッグ&ドロップで設計書を登録した際に、自動で表示するかしらないかの設定になります。自動で表示しない場合、手順③にて手動で表示して下さい。



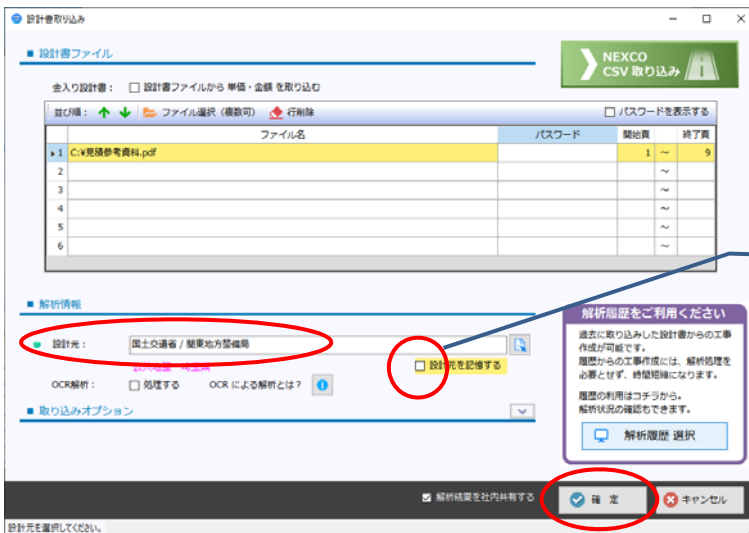
- <所持する積算・単価に基づいて設定する場合>
- ⑤ 「1. 積算体系今後」「2. 都道府県」「3. 設計元」を順に選択し、確定をクリックして下さい。

利用可能な県（単価ダウンロード済）が表示されます。

利用可能な積算体系（契約に基づく）が表示されます。



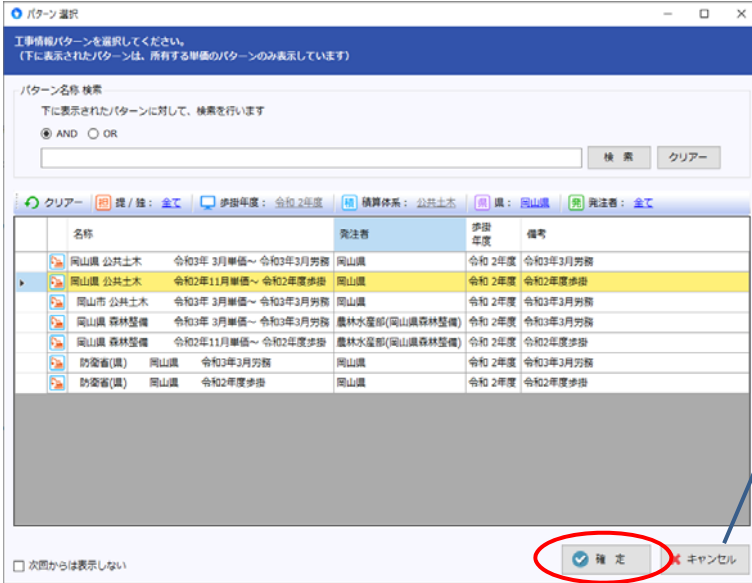
⑥ 設計元を検索したい場合は、名称を入力し、名称絞り込みに (チェック) を入れて下さい。



⑦ 選択した設計元が反映されます。
確定をクリックして下さい。解析が開始されます。

設計元を記憶すると次回取り込み時に、現在設定している設計元が自動的に選択（表示）されます。



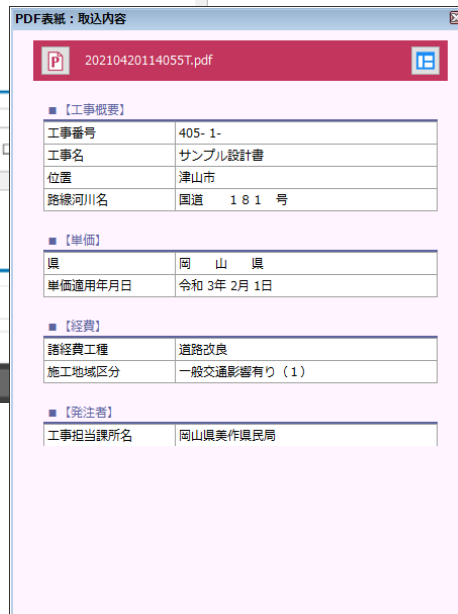


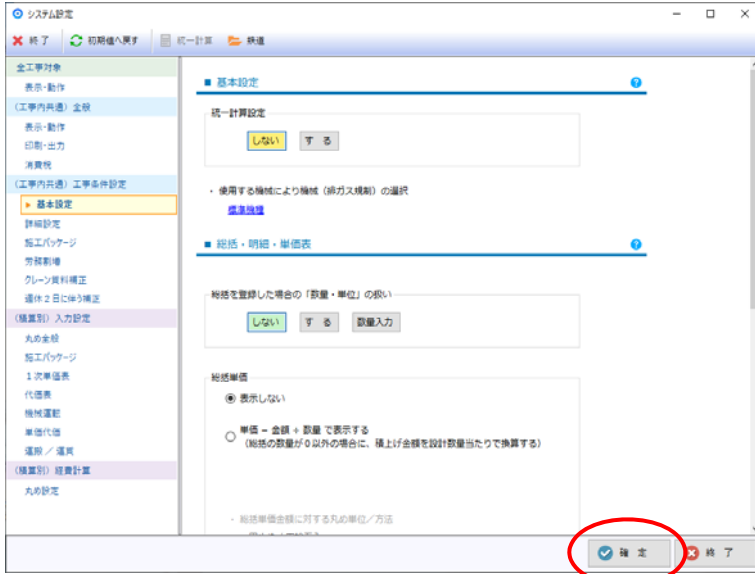
- ⑧ 解析が完了すると工事情報パターンの選択画面が表示されます。該当パターンを選択し、**確定**をクリックして下さい。

不明または該当項目が存在しない場合はキャンセルをクリックして下さい。

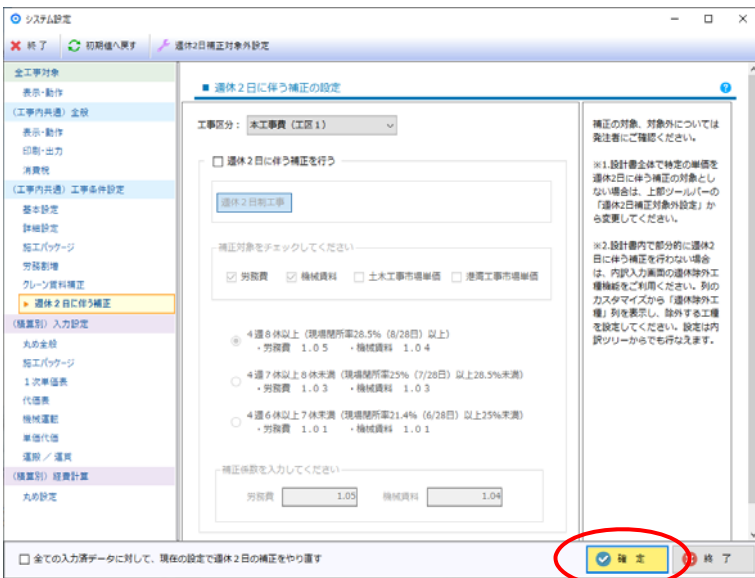


- ⑨ 取り込まれた表紙情報や設計書等から適用単価や地区、経費工種等を選択し、**作成開始**をクリックして下さい。

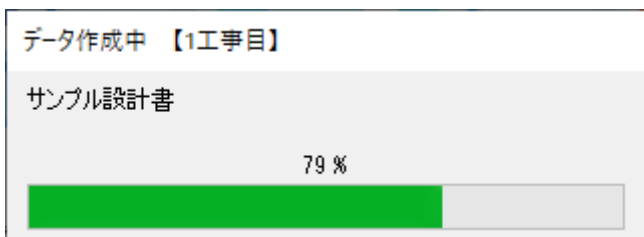




⑩ 「システム設定」画面が表示されますので、**確定**をクリックして下さい。



⑪ 週休2日補正設定画面が表示されます。週休2日の対象になっている工事の場合は、補正を行うにを入れ、各項目を設定し**確定**をクリックして下さい。



⑫ 工事データの作成が行われます。

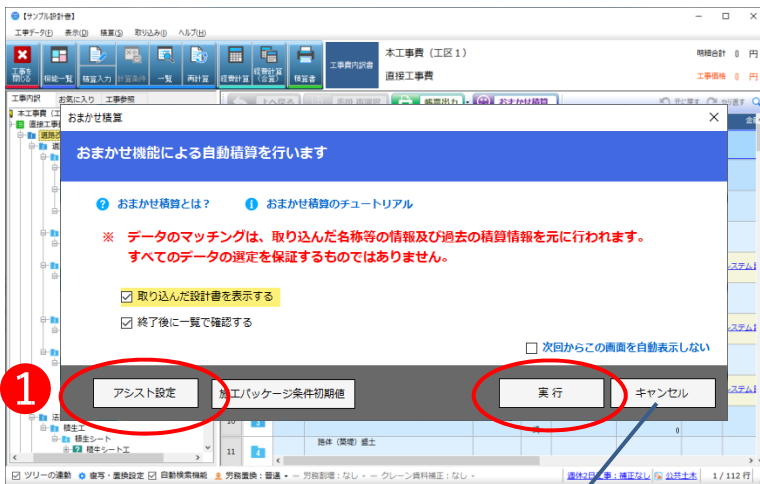
3 積算データ入力

実際に積算データの入力を始めます。

ここでは「おまかせ積算」機能を利用した手順を説明致します。

【おまかせ積算】とは？

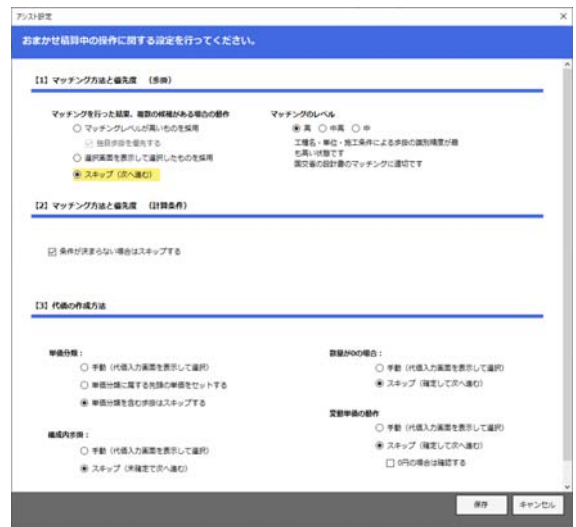
設計書から取り込んだ未確定代価の名称や計算条件、施工コード、構成比等を手掛かりに、あらかじめ設定した条件に基づき、お客様の過去履歴やその他の検証分析データを利用し、該当の歩掛を照合・特定して連続置き換えする機能です。



おまかせ積算を実行しない場合は、キャンセルをクリックして下さい。

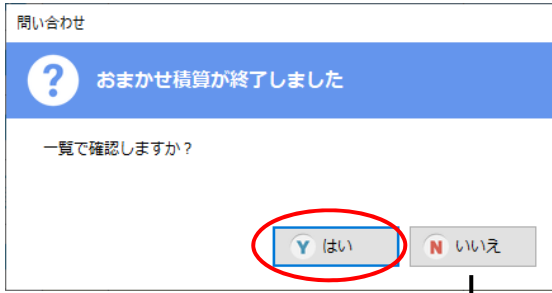
- ① 「おまかせ積算」画面が表示されますので、実行をクリックして下さい。

おまかせ積算の設定内容は①アシスト設定から確認出来ます。



- ② おまかせ積算処理が開始されます。

No.	種類	名称1	名称2	名称3	施工表	明細No
1	✓	掘削			施工	0001号
2	✓	土砂等運搬			施工	0002号
3	✓	整地			施工	0003号
4	✓	路床(路盤)盛土			施工	0004号
5	✓	路床盛土			施工	0005号
6	✓	路床盛土			施工	0006号
7	✓	路床盛土			施工	0007号
8	✓	法面整形			施工	0008号
9	✓	型枠工			施工	0010号
10	✓	型枠工			施工	0010号
11	✓	型枠工			施工	0010号
12	✓	型枠工			施工	0010号
13	!	防草ネット打設工			施工	0011号
14	!	防草ネット打設工			施工	0011号
15	!	防草ネット打設工			施工	0011号
16	!	防草ネット打設工			施工	0011号
17	?	養生工			施工	0012号
18	?	養生工			施工	0012号
19	?	養生工			施工	0012号



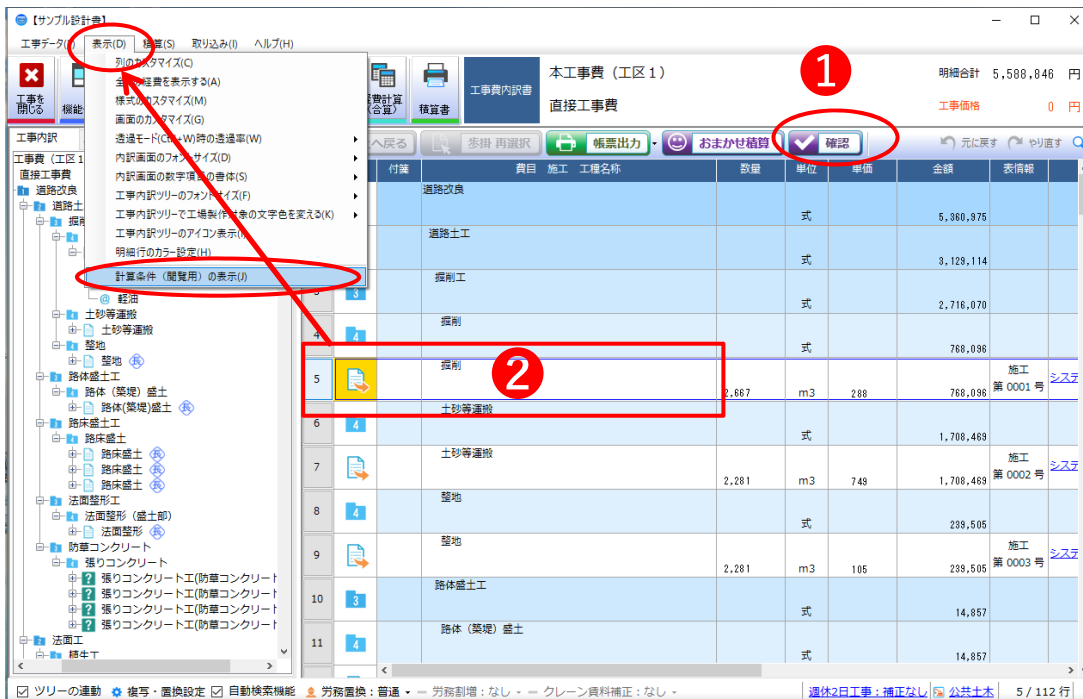
- ③ おまかせ積算で処理されたデータの確認画面を表示します。**はい**をクリックして下さい。

「いいえ」をクリックした場合は、確認画面は表示されず、工事内訳画面が表示されます。P12に進んで下さい。

注意！ おまかせ積算で処理されたデータは必ず最後にご確認をお願い致します。

確認方法は下記の2つの方法があります。

- ① **確認**をクリックし、おまかせ積算確認画面より確認。
- ② おまかせ積算で実行された行を選択し、表示>>計算条件（閲覧用）の表示より各条件を確認。



The screenshot shows the 'おまかせ積算 - 確認 -' window. The main table lists items with columns for No., 種類 (checked), 説明, 名称1, 名称2, 名称3, 数量, 単位, 単価金額, and 金額. A red box highlights the '種類' column. A breakdown window on the right shows '提供名称' and '1 位代価表' with a table of '名称/規格', '数量', and '単位'. A third window shows '条件' and '入力値' for '舗装板種別' with a table of '舗装板種別', '入力値', and '大都市の日当り作業量補正 (試行)'. Red circles 1, 2, and 3 mark specific elements in these windows. A red box 4 highlights the '種類' column in the main table.

① 種類

✓ (確認)・・・分析データや名称マッチングにて歩掛及び条件がセットされた状態です。
 ! (アシスト)・・・歩掛は選択されていますが、条件（一部を含む）や単価選択項目が未設定の状態です。
 ?・・・おまかせ積算で該当データが見つからなかった状態です。
 選択行と設計書が連動して表示されます。

② 代価構成内容になります。

③ 実際に設定されている条件値になります。

④ **注意！ 必ず確認、又はアシストをクリックし、選択された条件や代価内容を確認して下さい。**

This close-up shows the 'おまかせ積算 - 確認 -' window's toolbar and the top part of the data table. The toolbar includes buttons for '閉じる', '積算入力', '計算条件', '確認済み', 'アシスト', and '設計'. The '確認' button is circled in red. The table below shows the '種類' column with checkmarks for items 4 and 5.

No.	種類	説明	名称1
1			掘削
2			土砂等運搬
3			整地
4	確認	分析データ	路体(築堤)盛土
5	確認	分析データ	路床盛土

④ **確認**をクリックすると、種類が☑→ファイルアイコンへ変更されます。

おまかせ積算 - 確認 -

No.	種類	説明	名称1
12			型枠工
13	アシスト	アシスト可	防草コンクリート打設工
14	アシスト	アシスト可	防草コンクリート打設工
15	アシスト	アシスト可	防草コンクリート打設工
16	アシスト	アシスト可	防草コンクリート打設工
17	確認	分析データ	養生工

- ⑤ **アシスト** をクリックすると、計算条件画面が表示されます。

計算条件設定

防草コンクリート打設工

名称	入力値	単位
100%に当るコンクリート設計量		m ²

以下に入力してください

範囲: 0.001~9999.999

計算結果を表示する

計算式	代入結果	記号
D=DA*H	73=73*1	D
R1=R1A*H	1=1*1	K
R3=(R3A*RH+R3B*(1-RH))/H	2.9=(3.2*0+2.9*(1-0))/1	R1
KS=CS*K	0=0*0	R3
CS=Co*(1+0.21)	0=0*(1+0.21)	H

DA 標準型工費 7.3
R1A 特殊仮設鉄 1
R3A 普通員仮設鉄 3.2

施工代償表

項目	数量	単価	金額
防草コンクリート打設工	73	1000	73000

- ⑥ 未設定項目を連動表示されている設計書内容を確認し、入力して下さい。

おまかせ積算 - 確認 -

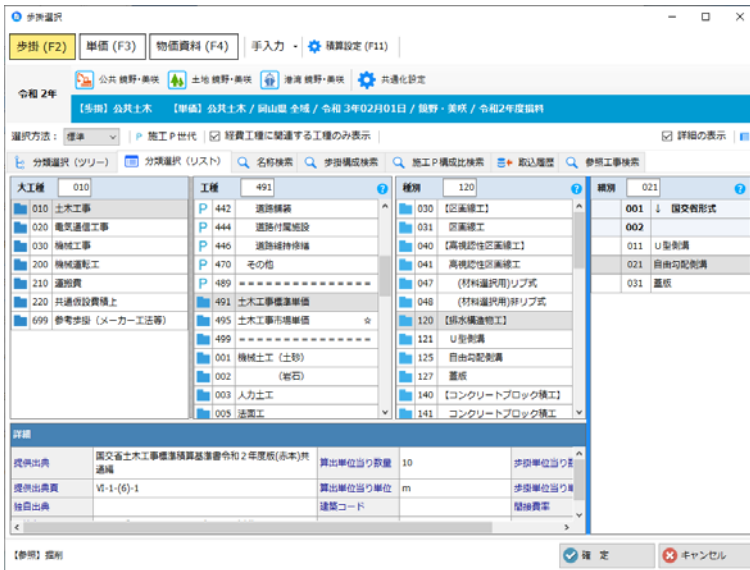
No.	種類	説明	名称1	名称2	名称3	数量	単位	単価金額	金額
1		開削				2,687	m ³	299	798,000
2		土留埋戻				2,281	m ³	749	1,708,459
3		型枠				2,281	m ³	105	239,556
4		型枠仮設鉄				83	m ³	179	14,857
5		型枠養生				15	m ³	691	10,365
6		型枠養生				22	m ³	279	6,066
7		型枠養生				19	m ³	4737	90,003
8		土留埋戻				583	m ²	347	195,981
9		型枠工				1.4	m ²	4144	5,801
10		型枠工				1.4	m ²	4144	5,801
11		型枠工				1.4	m ²	4144	5,801
12		型枠工				1.4	m ²	4144	5,801
13		防草コンクリート打設工				15	m ²	13430	201,450
14		防草コンクリート打設工				15	m ²	13430	201,450
15		防草コンクリート打設工				15	m ²	13430	201,450
16		防草コンクリート打設工				10	m ²	13430	134,300
17		養生工				15	m ²	74	1,110
18		養生工				15	m ²	74	1,110
19		養生工				15	m ²	74	1,110
20		養生工				10	m ²	74	740
21		片割				69	m ³	263	18,147
22		片割				69	m ³	263	18,257
23		埋戻				55	m ³	2274	125,676
24		埋戻				23	m ³	2274	52,302
25		仮設埋戻				30	m ²	350	10,500
26		仮設埋戻				10	m ²	350	3,500
27		小形機脚				11.3	m ³	72000	814,817
28		標準型仮設コンクリート				1.36	m ³	60810	82,791

- ⑦ 全ての項目を確認し、**閉じる** をクリックして下さい。



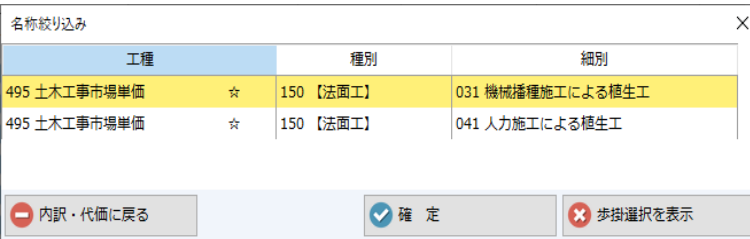
⑧ 次におまかせ積算で処理されなかった未設定項目の入力を行います。

⑨ ?をダブルクリックして下さい。



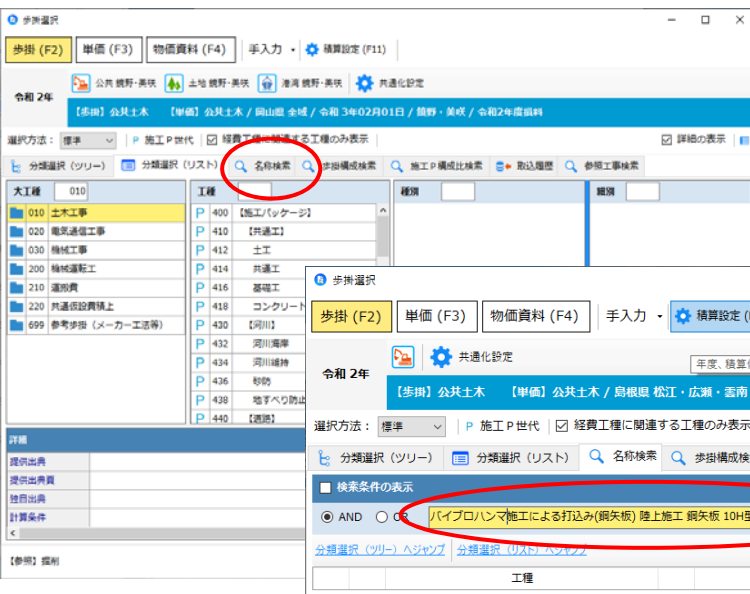
<候補が1つの場合>

名称や過去履歴検索を行い、該当歩掛が選択された状態になります。



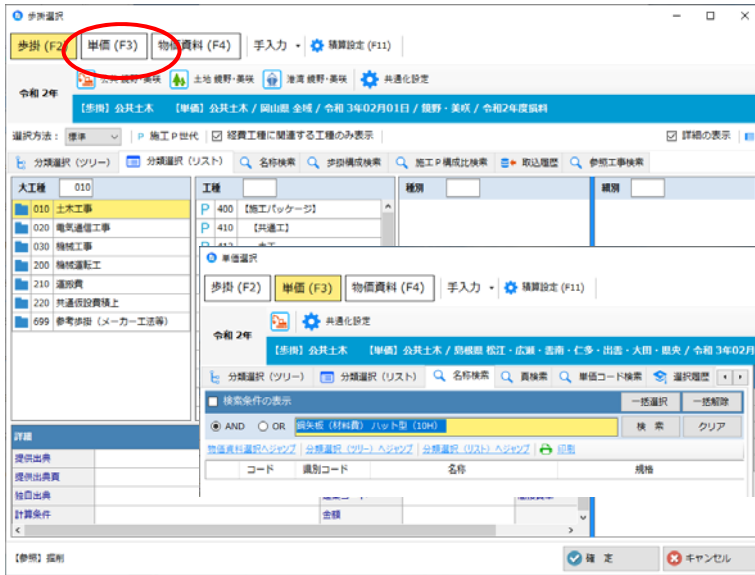
<候補が2つ存在する場合>

名称や過去履歴検索を行い、該当する歩掛が複数表示されます。該当歩掛があった場合、ダブルクリックで選択して下さい。

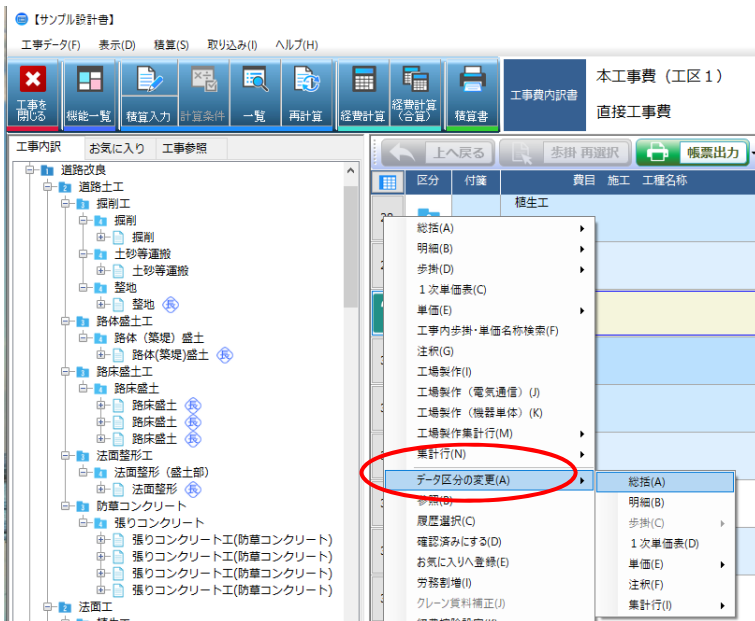


<候補が存在しない場合>

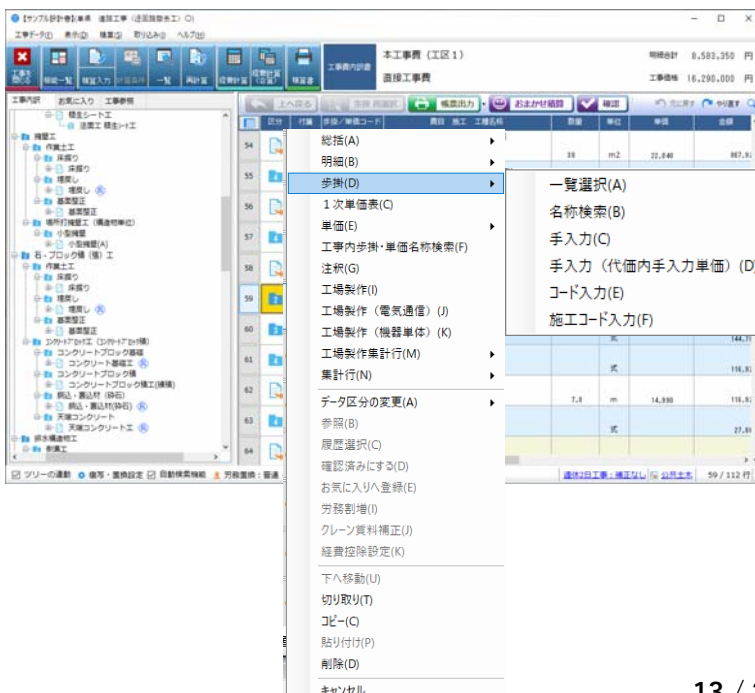
検索では該当歩掛が存在しない場合は歩掛選択画面が表示されます。**名称検索**タブをクリックし、検索名称を短くする等、調整を行い、再度検索して下さい。



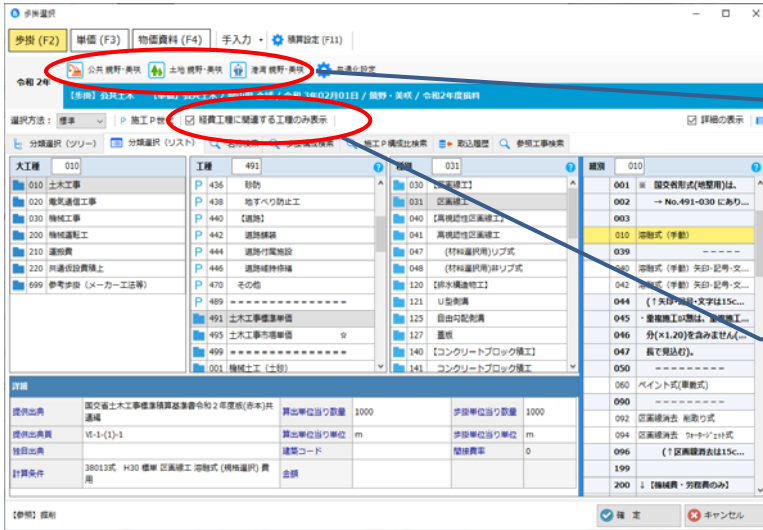
- ◆ 歩掛ではなく、単価で検索したい場合
単価 (F3) をクリックすると単価選択画面が表示されます。歩掛同様、名称検索やツリー一覧より該当単価を検索して下さい。



- ◆ ?マークを総括や単価へ、または総括を歩掛や単価に変更したい場合
 該当行を選択し、マウス右クリックをして下さい。一覧が表示されますので**データ区分の変更**を選択し、変更したい区分をクリックして下さい。



- ◆ 行を挿入したい場合
 挿入したい場所の下の行を選択し、マウス右クリックし、一覧より総括・歩掛・単価等、該当項目を選択して下さい。選択行の上部に挿入されます。

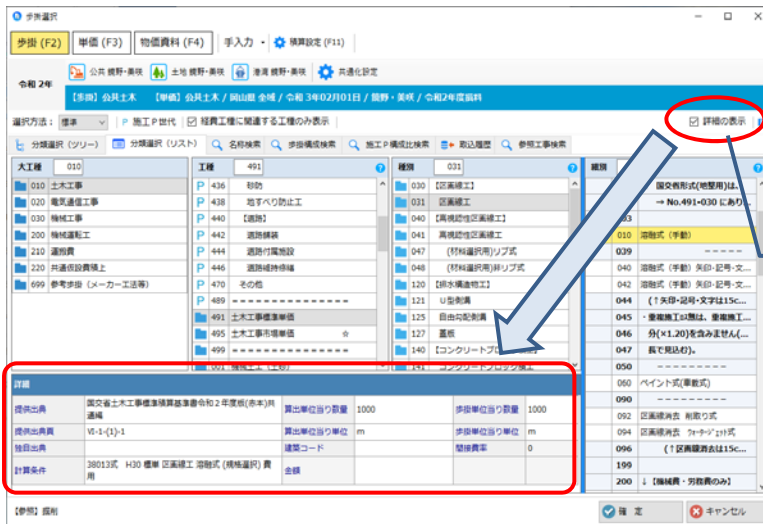


◆ 「歩掛選択」画面

共通化設定している積算体系が表示されます。該当の積算体系をクリックすると、選択した積算体系の歩掛が表示されます。

【経費工種に関連する工種のみ表示】

…工事情報画面で設定している経費工種に関連する工種で絞り込みが行われています。全ての歩掛を表示する場合はチェックを外して下さい。



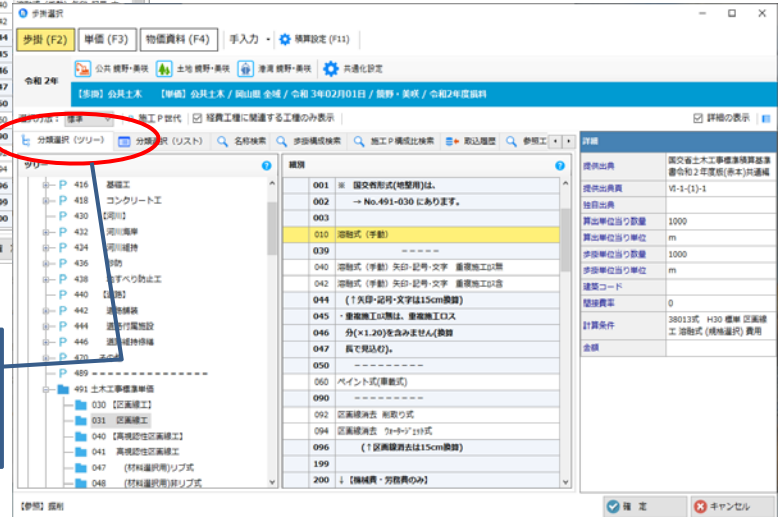
【詳細の表示】

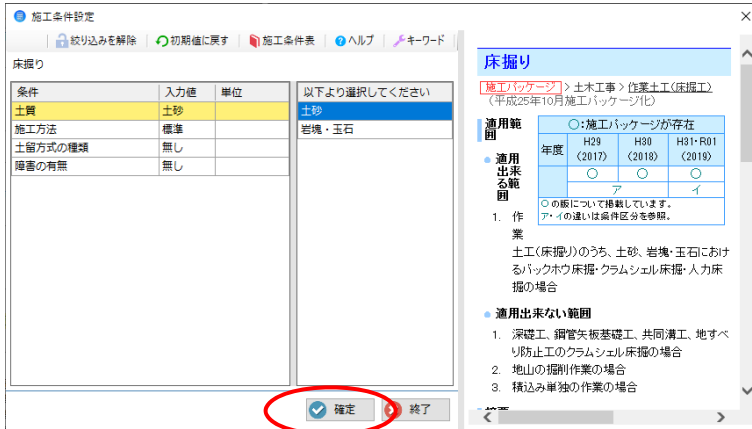
…細別を選択した状態で出典根拠や出典根拠頁情報が表示されます。



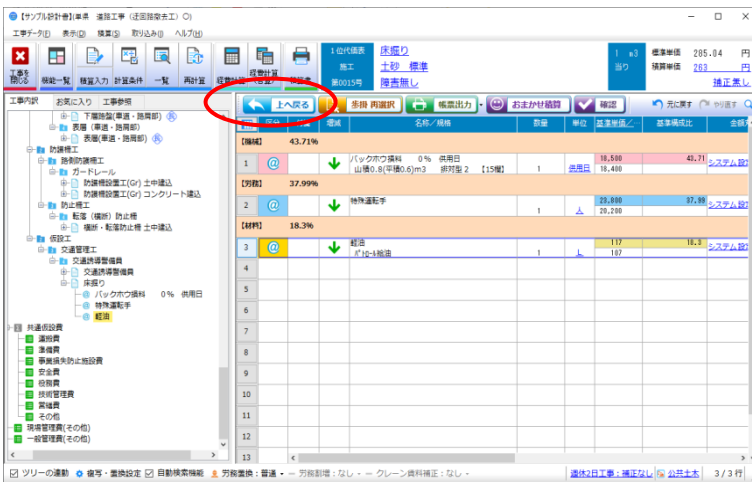
① 大工種 >> 工種 >> 種別 >> 細別の順番で選択します。

【分類選択 (ツリー)】をクリックすると、歩掛選択画面がツリー画面で表示されます。

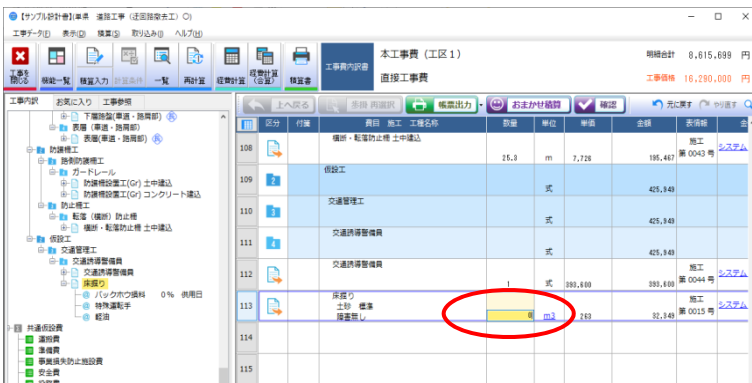




② 条件画面が表示されましたら、各項目を選択し、確定をクリックして下さい。



③ 選択した歩掛の代価画面が表示されますので、内容確認後、上へ戻るをクリックして下さい。



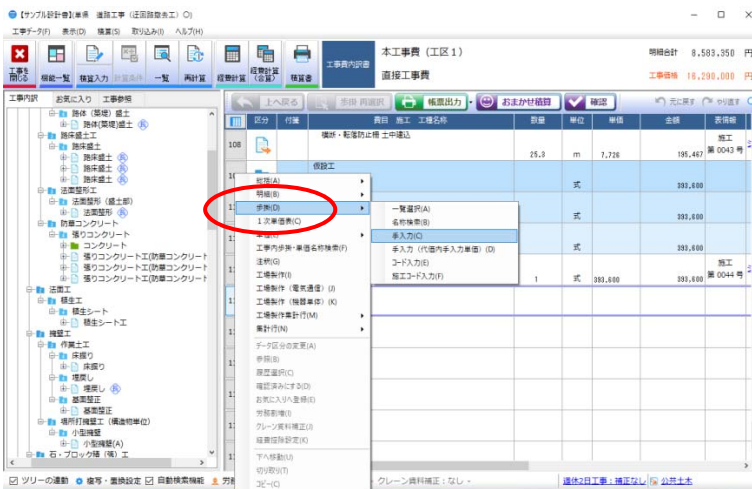
④ 数量を入力して下さい。



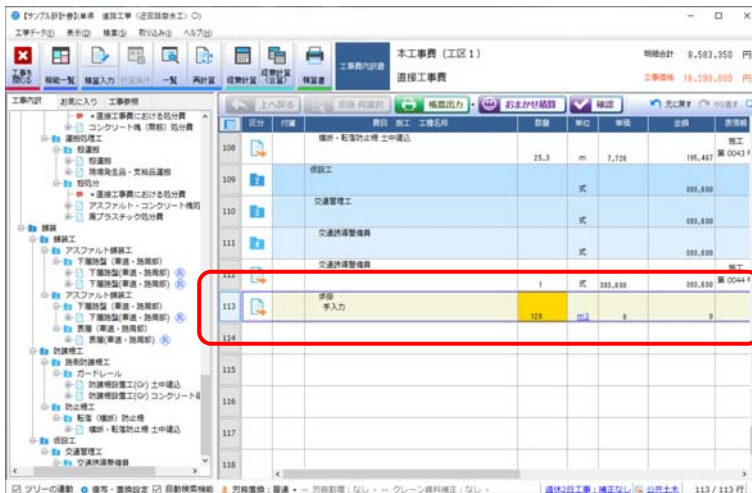
◆ 目的の歩掛を検索する方法
 歩掛選択画面より**①名称検索**タブをクリックして下さい。
②検索名称を入力し、**検索**をクリックして下さい。
 複数の検索名称で検索したい場合は、半角スペースを入力して下さい。
 例 電動ハンマドリル_コンクリート削孔
 ↑半角スペース



検索結果より該当歩掛を選択して下さい。



- ◆ 手入力歩掛の入力方法
新規行、又は挿入したい行の下段でマウス右クリック >> 歩掛 >> 手入力を選択して下さい。



名称・数量・単位を入力して下さい。

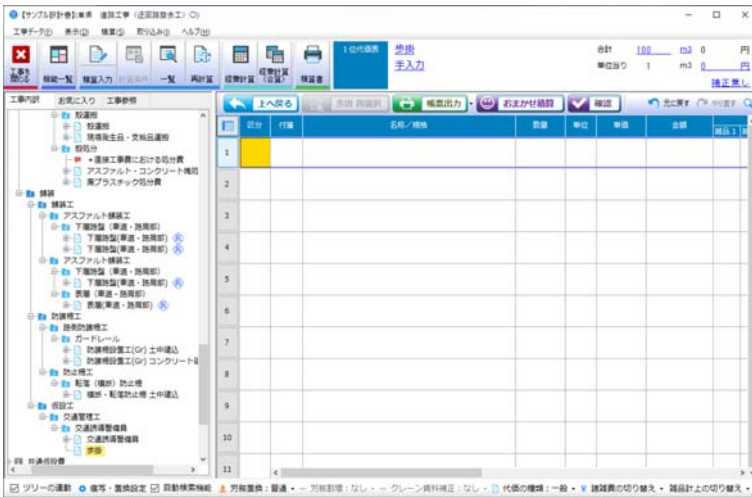
算出数量入力

算出 数量

単位

変更を元に戻す 完了

算出数量（合計数量）を入力し、**完了**をクリックして下さい。



代価画面が表示されますので、歩掛・単価等を入力して下さい。



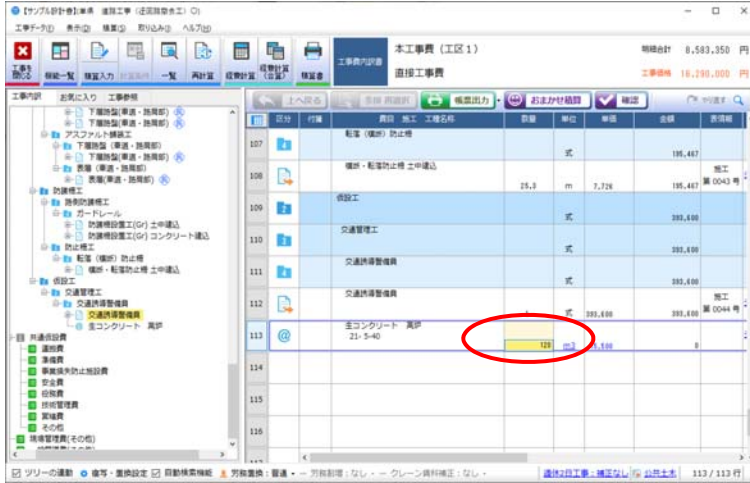
◆ 「単価選択」画面

物価資料（物調、経調）単価選択画面が表示されます。

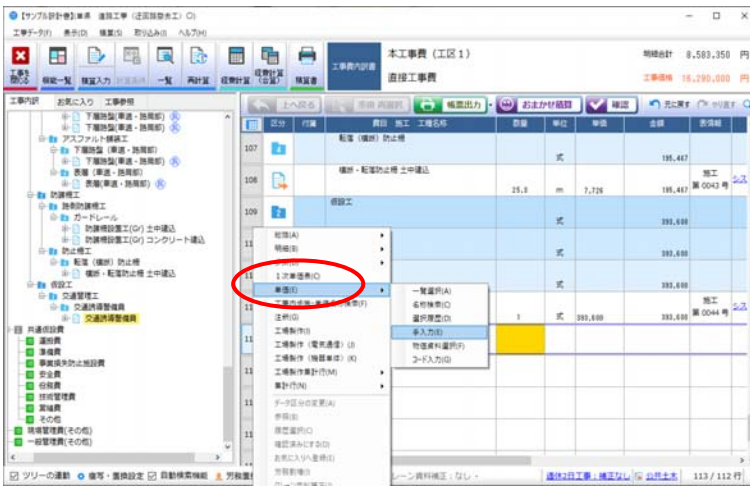
選択した単価の出典根拠、及び物調、経調単価の平均、安値の単価金額が確認出来ます。



① 大分類 >> 中分類 >> 小分類 >> 単価コードの順番で選択します。

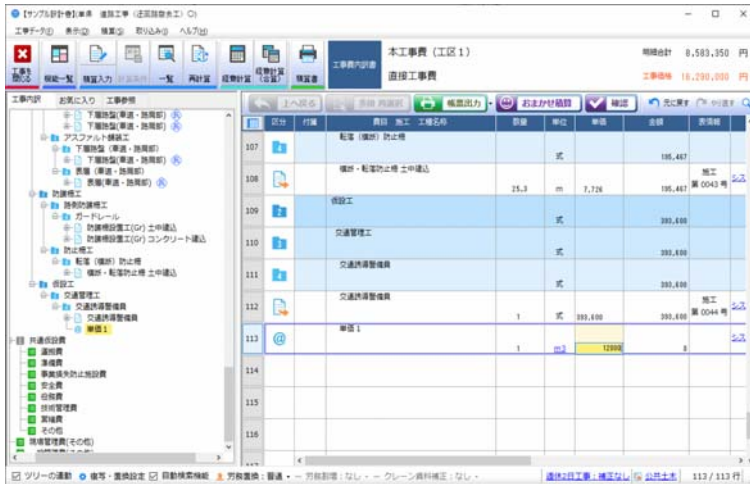


② 選択した単価の数量を入力して下さい。

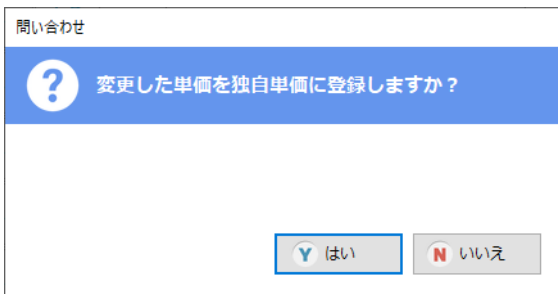


◆ 手入力単価の入力方法

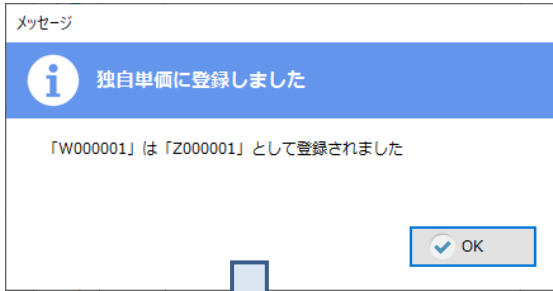
① 新規行、又は挿入したい行の下段でマウス右クリック >> 単価 >> 手入力を選択して下さい。



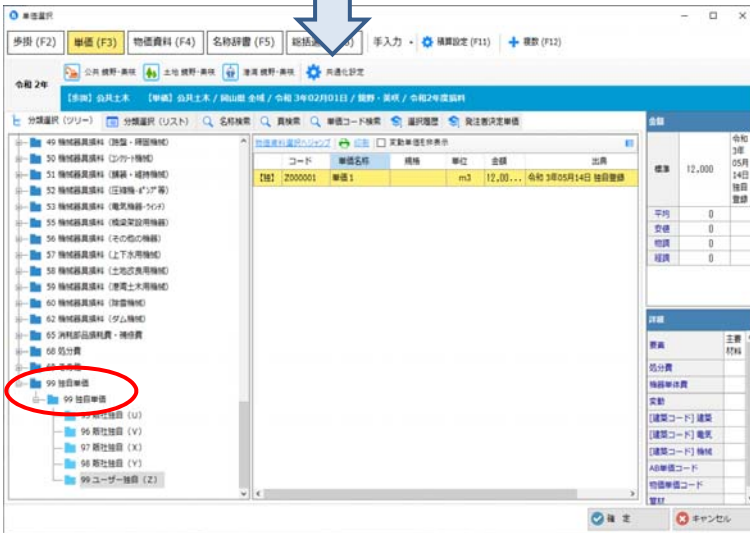
② 単価名称、数量、単位、単価を入力して下さい。



③ 手入力した単価を独自単価として登録するかの確認画面が表示されます。独自単価に登録すると、今後利用する単価マスターとして登録されますので、次回から単価選択画面から選択する事が可能になります。



④ 独自単価に登録した場合、登録完了画面が表示されます。

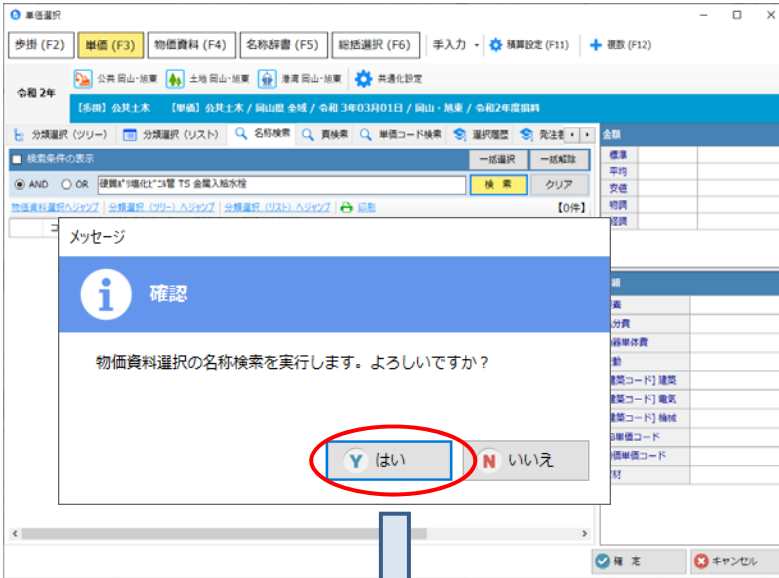


⑤ 単価選択画面の
99 独自単価 >> 99 独自単価 >> 99 ユーザー独自(Z)
内に登録されます。



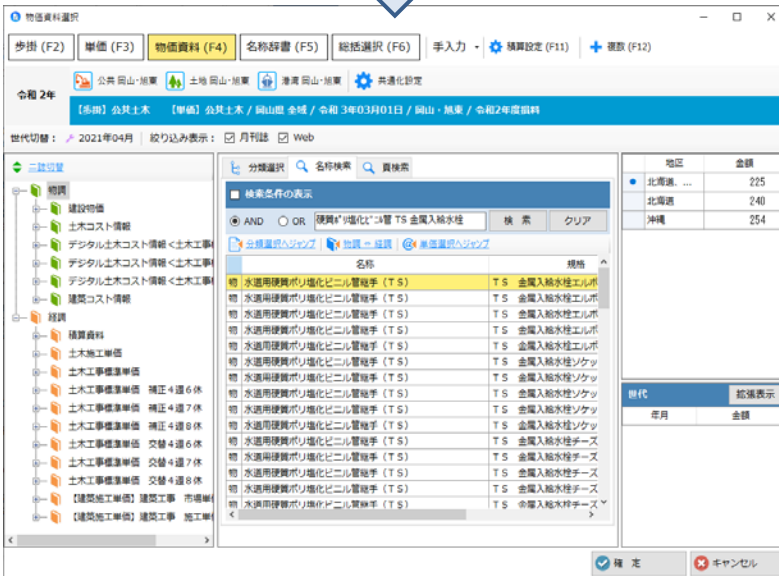
◆ 目的の単価を検索する方法
単価選択画面より**①名称検索**タブをクリックして下さい。
②検索名称を入力し、**検索**をクリックして下さい。
複数の検索名称で検索したい場合は、半角スペースを入力して下さい。
例 硬質ポリ塩化ビニル管 TS片
↑半角スペース

検索結果より該当単価を選択して下さい。



名称検索で該当する名称単価が存在しない場合、物価資料データから名称検索を行うかの確認画面が表示されます。

物価資料データから検索を引き続き行う場合は **はい** をクリックして下さい。

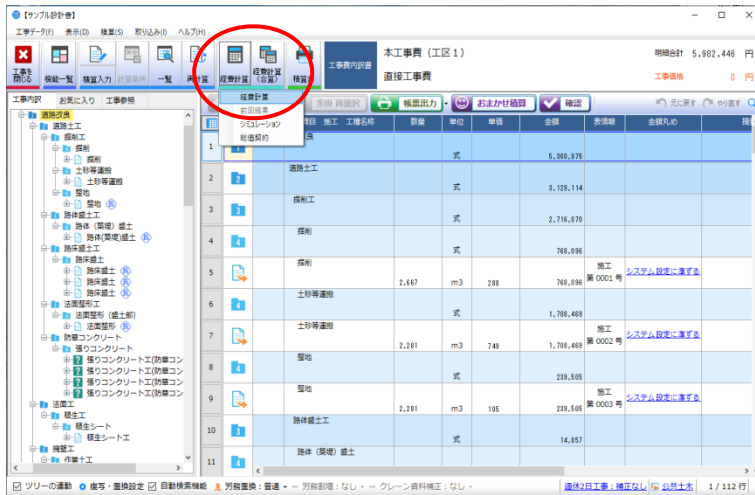


物価資料データに存在する場合は、該当単価が表示されます。

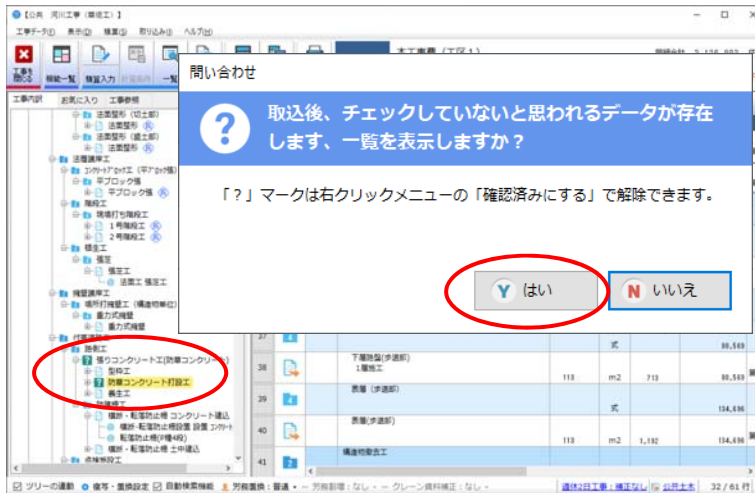
ダブルクリックで選択して下さい。

4. 経費計算

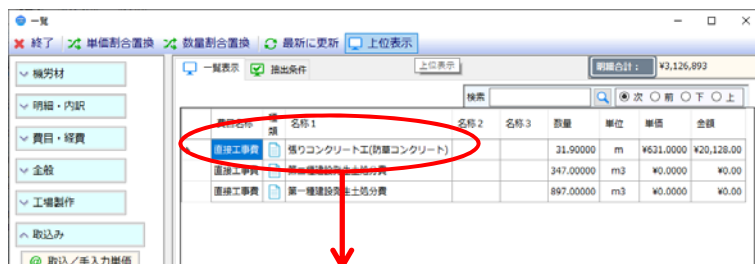
全ての積算データの入力が完了しましたら、経費計算を行います。



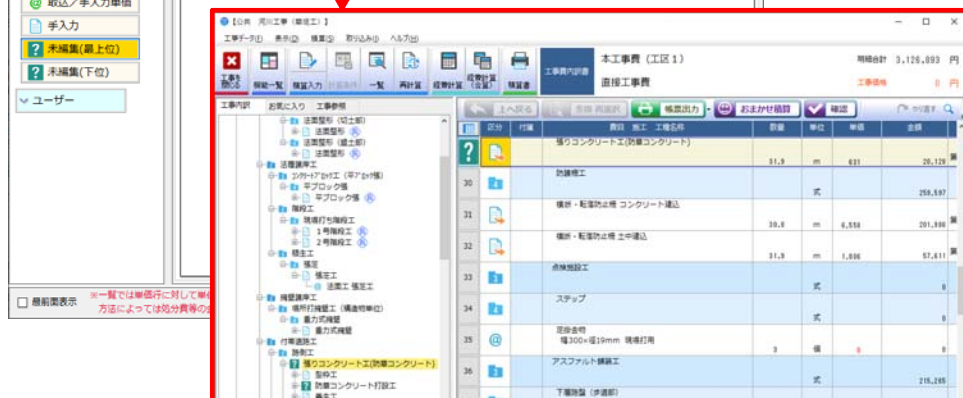
- ① 「工事内訳」画面の**経費計算**をクリックし、一覧より**経費計算**をクリックして下さい。

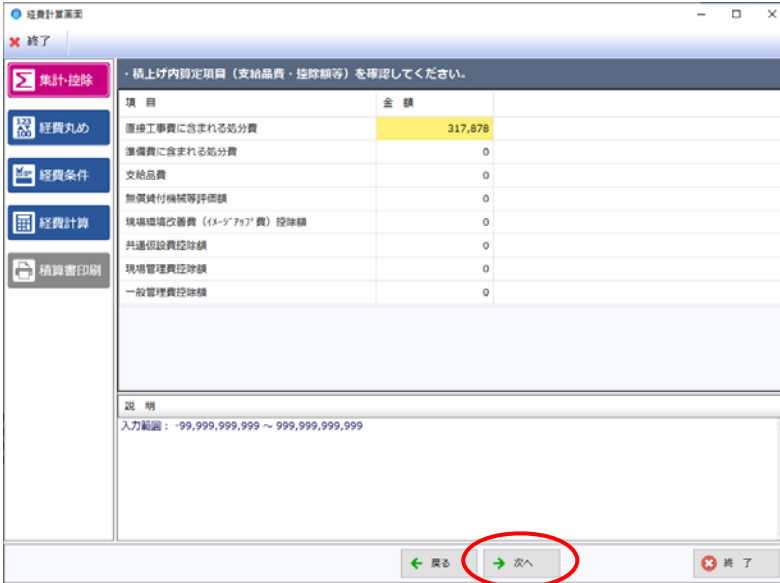


- ② 積算データ内に「?(未編集)」(設計書取込後、入力していないと思われるデータ)が存在する場合、確認画面が表示されます。必ず確認をお願い致します。

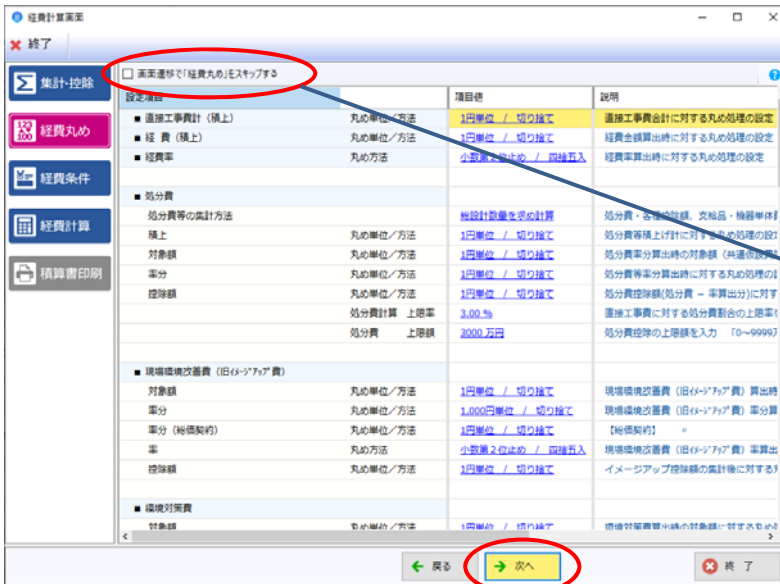


- ③ 別画面で未編集一覧が表示されます。ダブルクリックすると、工事内訳の該当箇所へ移動しますので、入力確認をお願いします。





④ 全ての内訳データ入力完了後、経費計算をクリックして下さい。経費計算画面が表示されます。「集計・控除」画面が表示され、工事内訳内で設定されている項目については自動集計されます。手入力で金額入力する事も可能ですが、次回の経費計算時には再度入力する必要があります。確認後、次へをクリックして下さい。



⑤ 「経費丸め」画面が表示されます。各項目の丸め内容を確認し（初期値は工事作成時に選択した発注者の設定値）、次へをクリックして下さい。

チェックを入れると、次回より経費丸め画面をスキップする事が出来ます。



⑥ 「経費条件」画面が表示されます。重要な入力項目となりますので、必ず設計書の条件を確認し、選択して下さい。選択完了後、次へをクリックして下さい。

費目	対象額	経費率(%)	積算金額
直接工事費			8,583,350
共通仮設費計			1,369,000
純工事費			9,952,350
現場管理費	9,891,972	36.29%	3,589,000
現場管理費(その他)			0
工期延長等の費用(積上)			0
工期延長等の費用(率分)			0
工期延長等に伴う現場維持等の...			0
工事原価			13,541,350
工事原価計			13,541,350
一般管理費率分	13,480,972	20.40%	2,748,650
契約保証費	0		0
一般管理費計			2,748,650
一般管理費(その他)			0
漏取調整金			0
工事原価計			16,290,000
工事調整額			0
調整後工事費			16,290,000
消費税相当額		10.00%	1,629,000
工事費			17,919,000

⑦ 「経費計算」画面が表示されます。

➤ 最低制限価格を適用し、価格調整を行いたい場合

1. 低入調査をクリックして下さい。

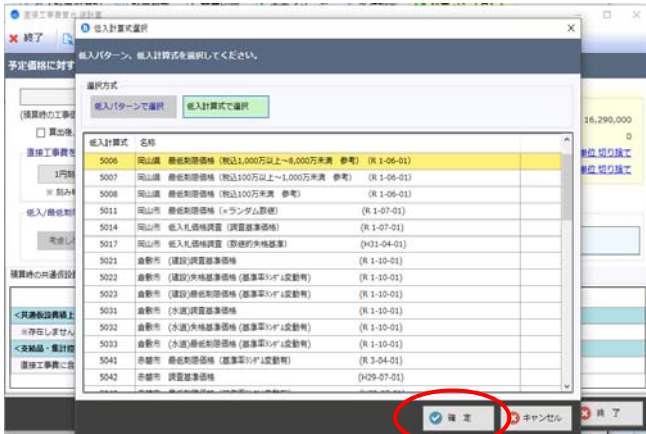
経て行う作業を選択してください。

- ➔ ①直接工事費を入札価格の逆計算から求め→入札価格調整を行います。
- ➔ ②現在の積算金額より入札価格調整→低入札調査基準価格を求めます。
- ➔ ③現在の積算金額を共通・現場・一般の率分のみで入札価格調整を行います。
- ➔ ④現在の積算金額より低入札調査のみを行います。(※入札価格調整は行いません。)

2. 調整を行う方法を選択して下さい。

- ① 予定価格をまず算出し、その結果金額に対して低入計算式を実行し、低入札調査基準価格を求めます。
- ② 工事内訳で入力した結果を利用し、その結果金額に対して低入計算式を実行し、低入札調査基準価格を求めます。

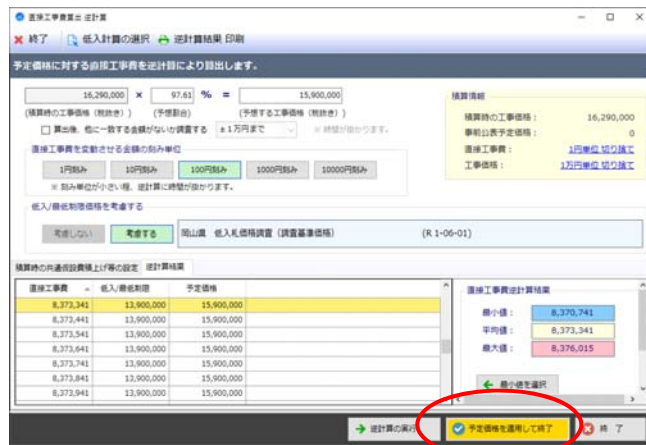
ここでは①を選択した手順を説明します。



3. 該当する低入計算式を選択して下さい。



4. 予定価格の確認を行い（修正も可能）、**逆計算の実行**をクリックして下さい。



5. 算出された一覧より該当金額を選択し、**予定価格を適用して終了**をクリックして下さい。
（最小値、平均値、最大値の金額に色が付きます）



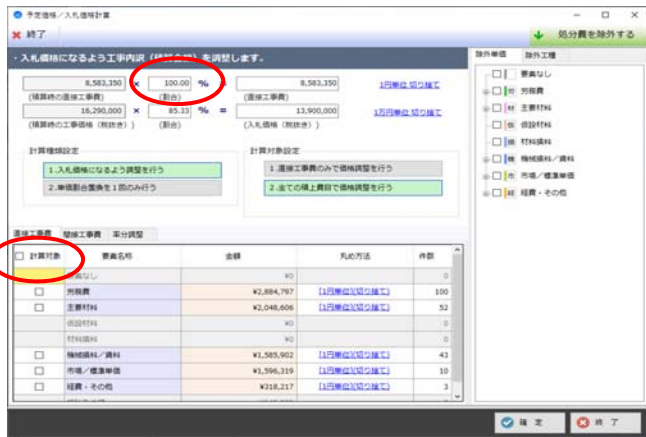
6. 選択した金額結果が画面に表示されます。**入札価格調整機能へ**をクリックして下さい。



7. 設定した予定価格になるよう工事内訳を調整します。

価格調整対象から処分費を除外する事が可能です。

設定が完了しましたら、**確定**をクリックして下さい。



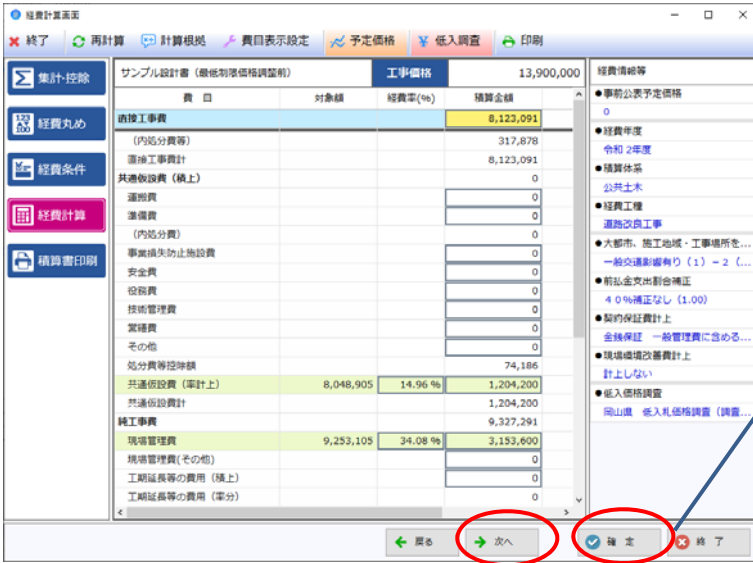
※ 直接工事費金額はそのまま、率分のみで調整したい場合は、直接工事費割合を 100% に設定し、直接工事費、間接工事費の計算対象のチェックを全てはずして下さい。



8. 価格調整を行う前の工事データを保存しておく為に、調整後の工事を別工事として一度保存します。工事名等確認しやすい名称を入力し、**確定**をクリックして下さい。



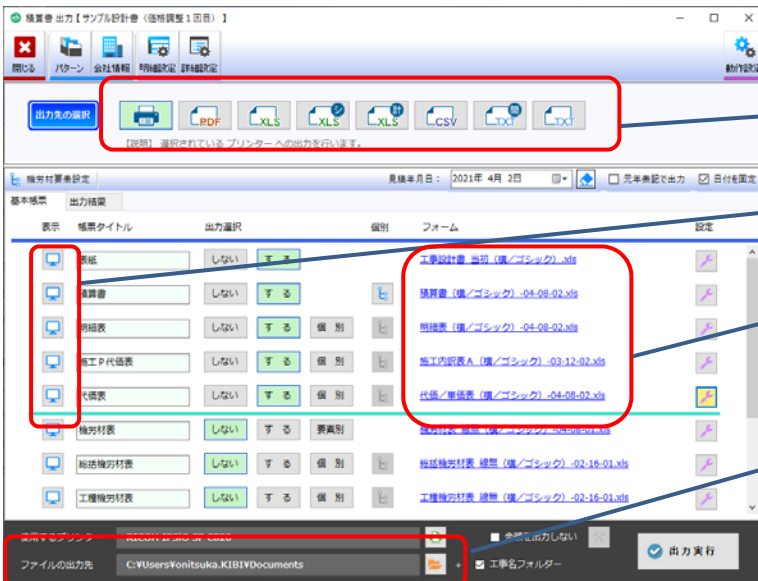
9. 調整後の積算金額が反映されます。金額を確認し、**入札価格を積算金額へ反映し終了**をクリックして下さい。



⑧ 引き続き、積算書印刷を行います。次へをクリックして下さい。

工事内訳画面に一度戻り、内容確認する場合は**確定**をクリックして下さい。
工事内訳画面の【積算書】より積算書印刷が可能です。

5. 積算書印刷



◆ 「積算書印刷」画面

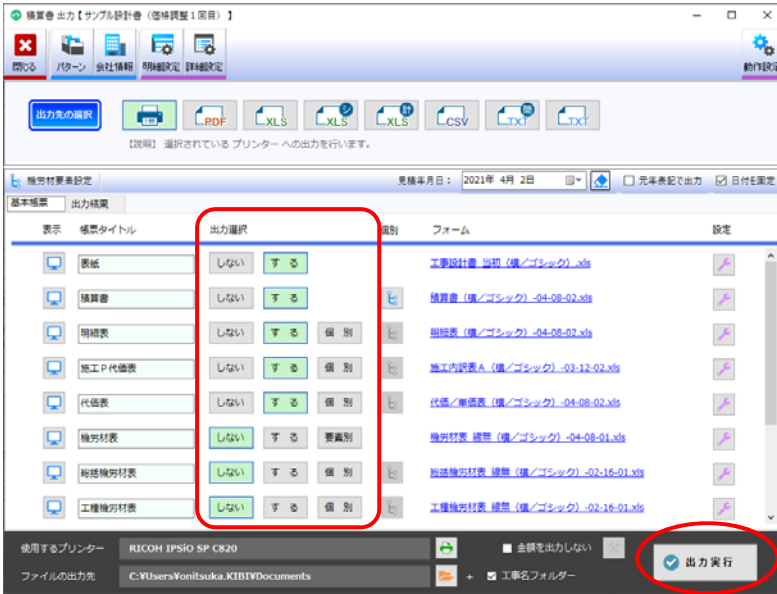
積算書出力のファイル形式を選択します。

プレビューでレイアウトを確認出来ます。

フォームを変更出来ます。文字部分をクリックして下さい。

ファイル出力する場合の出力先を表示(変更)します。

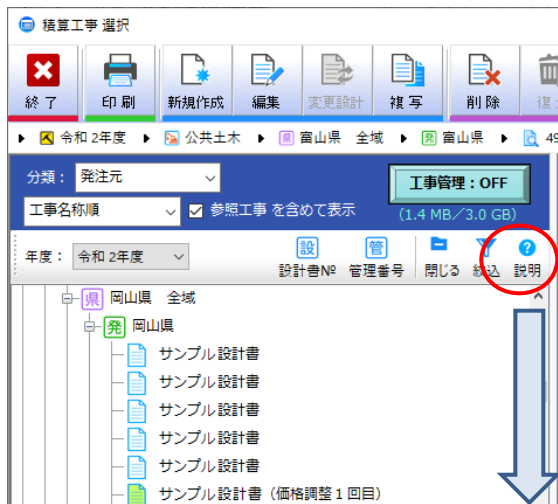
出力形式	アイコン	説明
プリンター印刷		プリンターに出力します。プリンターの設定が必要です。
PDF		各帳票毎にPDFファイルとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
XLS		帳票毎にExcelファイルとして出力します。帳票内の各ページは異なるシートとして出力されます。ファイルの出力先設定が必要です。 ※積算書出力画面右上の動作設定をクリックして表示される動作設定画面で、 帳票毎にXLS形式でファイル出力する機能を有効にする にチェックを付けている場合のみ選択肢として表示されます。
XLS1シート形式		帳票毎にExcelファイルとして出力します。帳票内の複数ページをまとめて1シートとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
XLS経費計算機能付き出力		各帳票を1シートとして一つのExcelファイルに出力します。また、出力されたExcelファイル内で数量や単価等を修正した場合、マクロ機能により集計や経費計算について再計算を行います。ファイルの出力先設定が必要です。
CSV		各帳票毎にCSV(カンマ区切り)形式のファイルとして出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
テキストデータ簡易形式		各帳票毎に簡易的なテキスト形式で出力します。ファイルの出力先設定が必要です。
テキストデータ		各帳票毎に旧システムの形式で出力します。ファイルの出力先設定が必要です。



- ① 出力設定を行い、**出力実行**をクリックして下さい。
出力形式で選択した形式で出力されます。

6. 工事選択画面説明

◆ 工事選択に表示されるアイコン説明



オプション「工事管理」システムをご利用のお客様への説明アイコンとなります。

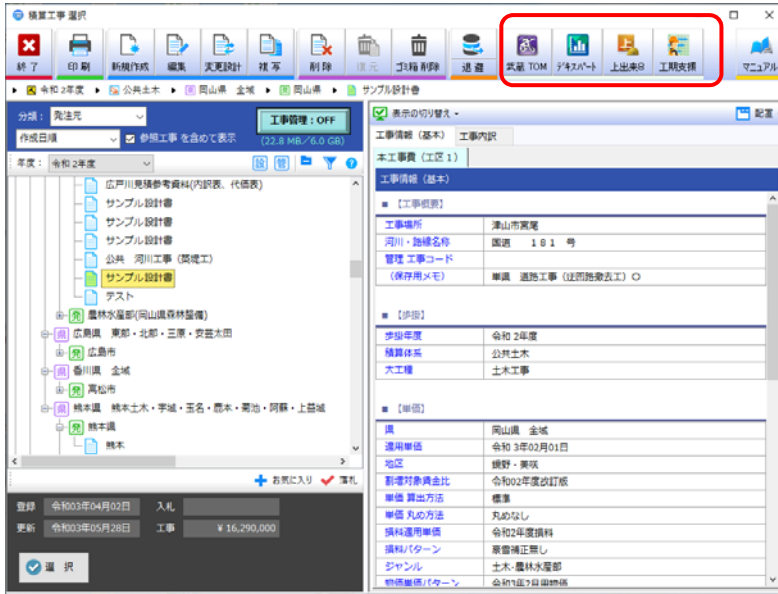
工事選択に表示されるアイコンは、次の意味を表しています

	単独工事です		ローカルのみ
	合算工事です		サーバーのみ
	経費計算が完了しています		サーバーあり/ローカルあり
	落札マークが付加されています		サーバーあり/ローカル更新
	参照工事です (※編集に制限あり)		サーバー更新/ローカルあり
	経費計算シミュレーション工事です		サーバーあり/ローカルなし (ゴミ箱)
太字表記	お気に入り設定されています		

詳しくは、下記リンクよりマニュアルを参照してください。
[Webマニュアル「工事データの種類」](#)

閉じる

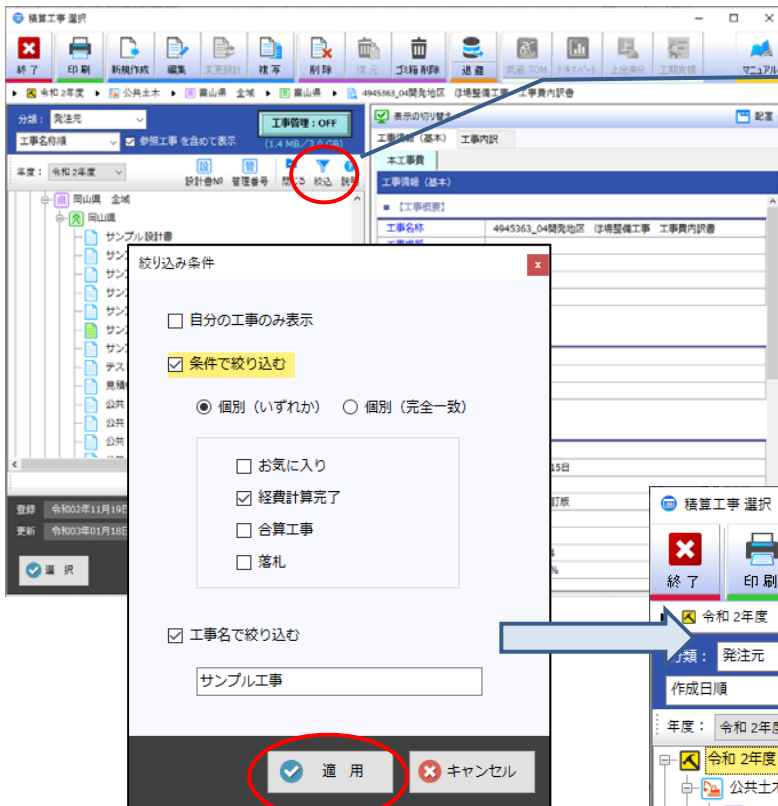
◆ 「武蔵」や「デキスパート」等のシステムとのデータ連携方法



工事を選択し、連携出力したいシステムをクリックして下さい。

(該当工事右クリック内の一覧からでも選択出来ます)

◆ 工事を検索（絞り込む）方法



「絞り込」アイコンより工事検索及び絞り込みが可能です。

条件項目を設定し、**適用**をクリックして下さい